

【令和8年熊本地震復興支援ファンド(仮称)の概要】

名称	令和8年熊本地震復興支援投資事業有限責任組合(仮称) (通称:令和8年熊本地震復興支援ファンド)
ファンド総額	最大 50 億円
組合員構成(予定※)	株式会社肥後銀行、株式会社熊本銀行、熊本信用金庫、熊本第一信用金庫、熊本中央信用金庫、天草信用金庫、熊本県信用組合、熊本県信用保証協会、独立行政法人中小企業基盤整備機構、肥銀キャピタル株式会社、株式会社熊本リバイタル、REVIC 復興キャピタル株式会社 ※平成 28 年熊本地震時に組成した「熊本地震事業再生支援ファンド」の参加各社と連携し、今回も同様の「オール熊本」体制による組成を想定。
存続期間	10 年間(最大 3 年間の延長が可能)
業務運営者(無限責任組合員)	肥銀キャピタル株式会社、株式会社熊本リバイタル、REVIC 復興キャピタル株式会社
支援対象となり得る事業者	令和8年熊本地震で被災し、本ファンドによる既往債務に係る債権の買取りを主な手段として、多重債務の解消と事業再建を目指す熊本県内に所在する事業者。(必要に応じて、出資等による補完的な支援機能なども活用)

【補足説明:本ファンドの共同業務運営者(概要)】

肥銀キャピタル株式会社:株式会社肥後銀行グループ

株式会社熊本リバイタル:株式会社リサ・パートナーズが平成 28 年熊本地震時に設立したファンド運営会社

REVIC 復興キャピタル株式会社:株式会社地域経済活性化支援機構が設立した災害復興ファンド運営会社

※本ファンドは、各種の契約手続きや法令上の手続き等を経て、本年中を目途に組成を完了する予定です。